

冬季無災害運動 推進中!

取組期間 令和6年12月1日～令和7年2月28日

～冬季に発生しやすい特有の災害に対する防止対策に取り組みましょう～



凍結路面での交通事故

チェーン等の装着

墜落制止用器具等の使用

急ブレーキ等の禁止

2名以上での作業

対策

耐滑性の高い靴の着用

点検調整時の電源OFF

滑止めマットの使用

除雪エリアの立入禁止



雪下ろし中の墜落



積雪・凍結路面での転倒



除雪機の刃部との接触

冬季に起きる災害!!

凍結 転倒、交通事故など

積雪 雪下し時の墜落、転倒、交通事故、除雪機への巻き込まれなど

災害を防止するには

●交通事故

- ・チェーンや冬用タイヤの早めの装着
- ・急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキをしない
- ・二輪車は特に注意

●転倒

- ・耐滑性の高い靴の着用
- ・滑止めマットなどの使用
- ・除雪の徹底

●雪下ろし時の墜落

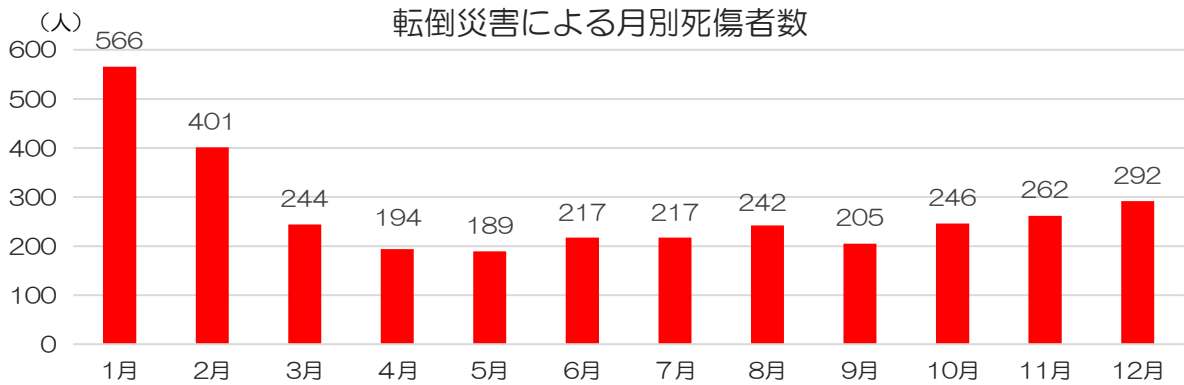
- ・保護帽と墜落制止用器具の着用
- ・2名以上での作業を徹底

●除雪機の刃部との接触

- ・点検調整時の電源オフとその明示
- ・除雪エリアへの立入禁止とその明示

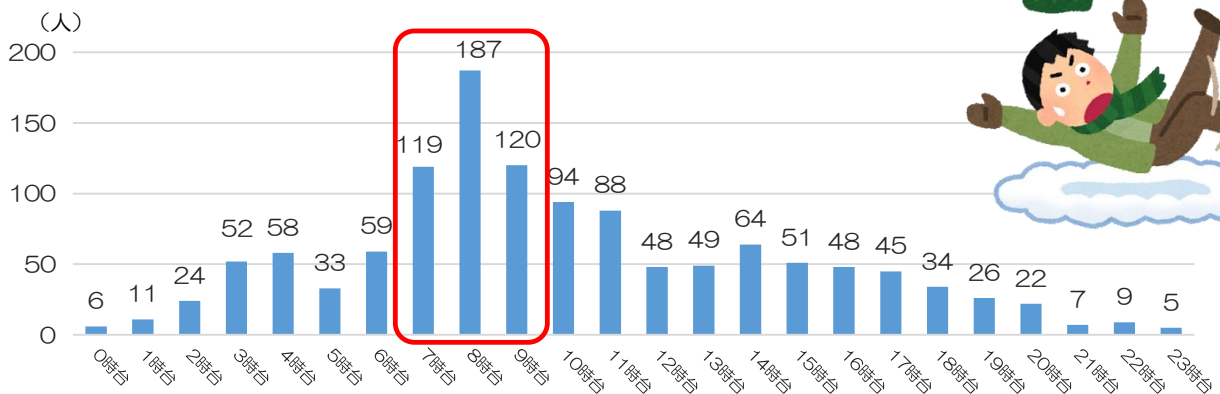
冬季における転倒災害の概況（富山県内・過去10年）

富山県内では、冬季（12月～2月）に、転倒災害による死傷者数が増加する傾向があります。特に、気温が氷点下となった日には、凍結した路面で滑って転倒する災害が多発していますので、十分注意しましょう。



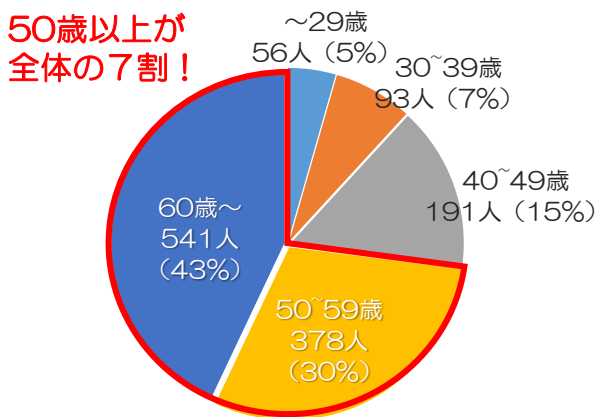
冬季の転倒災害は7時～9時台に多発しており、朝の通勤時などは特に注意が必要です。あらかじめ気象情報を確認し、時間に余裕をもって出かけるなどの対策が求められます。

転倒災害による時間帯別死傷者数（12月～2月）



年齢別に見ると「60歳～」と「50～59歳」で全体の7割以上を占めており、休業日数も年齢が高いほど長くなる傾向が見られることから、高年齢労働者は特に注意が必要です。

転倒災害による年齢別死傷者数（12月～2月）



転倒災害による死傷者の年代別休業日数の割合

